

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	家畜衛生	■募集人数（人）	1
■学位	博士		
■担当部署名	経済開発部 農業・農村開発第一グループ		
■募集の背景 途上国において、畜産振興による小規模農家の所得向上と動物性たんぱく質の安定的な供給が期待されています。一方、畜産物の生産の拡大は、家畜疾病の増加に繋がるリスクを生みます。家畜疾病は生産性を阻害する大きな要因の一つであり、家畜衛生の改善が求められています。そこで、JICAは、農家の所得向上と畜産物の安定供給のため、畜産振興と家畜衛生の強化に取り組んでいます。また、動物に由来する新興・再興の感染症の発生・伝播リスクの高まりや、食の安全に対する意識の高まりなどを背景に、動物・人間・生態系の健康を推進する、ワンヘルスアプローチの重要性が増しています。途上国ではデータ収集、報告、分析、対策というサーベイランスの仕組みが十分でなく、感染症の拡大や動物由来食品の衛生リスクを制御することが難しい状態です。そのため、JICAは家畜衛生強化を通じたワンヘルスの推進に寄与する様々な協カスキームをクラスター化し、重点的に取り組むこととしており、本分野の高度な知見を有する人材育成が急務となっています。			
■本事業を通じて育成が期待される人材像 本ポストでは、JICA専門家等経験者が本事業を通じて家畜衛生分野の博士号を取得することで、家畜感染症防疫や産業動物生産獣医療、獣医公衆衛生サービスなどに関する高度な学術的・実務的な研究等を理解し、先方政府や国際パートナー機関との協力を図り、専門家チームを統括するチーフアドバイザー等として活躍する人材が育成されることが期待されています。			
■想定される大学院の研究コース（及び研修内容） 獣医学の中でも、特に家畜（産業動物）衛生学、獣医公衆衛生学、あるいは感染症疫学などを専攻することを想定。フィールドワークとラボ解析の両方をカバーする研究課題が望ましい。			
■参考情報 世界が抱える課題への取り組み（農業開発／農村開発） https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/index.html			
■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間 学位取得後に、1～2年程度JICA本部に勤務した後、専門家等として1年以上派遣されることを想定 * 面接時及び合格発表時、研修中等に本人と適宜相談の上、業務内容は変更の場合がございます。			
■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）			
必須	獣医師免許		
必須	当該分野に関連する3年以上の実務経験を有すること。		
必須	JICA専門家/海外協力隊として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外経験を有すること		
■備考・留意点 新型コロナウイルス感染症を含む新興感染症対策（Emerging disease control）や、食料安全保障（Food security）、そして食の安全（Food safety）など、ワンヘルスアプローチを必要とする課題の重要性が高まっています。その中で、家畜の健康から、動物由来感染症の制御、そして食品の安全確保までを職域としてきた獣医師に期待される役割は大きくなっています。国際的なワンヘルスの最新動向を把握しつつ、家畜衛生・獣医公衆衛生分野の高い専門性を備えた人材となることを期待しています。			